

[雑誌論文]

1. 著者名 : 梶田将司
2. 論文標題 : 2030年の大学情報環境を見据えた大学DX
3. 雑誌名 : 大学教育学会誌
4. 巻 : 44
5. 発行年 : 2022
6. 最初と最後の頁 : 4-6
7. 論文のDOI : 無
8. 査読の有無 : 無
9. オープンアクセス : -
10. 国際共著 : -

[雑誌論文]

1. 著者名 : Akihiro Kameda, Kosei Mino, Shoichiro Hara, Shigeo Sugimoto
2. 論文標題 : Trial for Collecting, Sharing and Preserving Digital Research Assets in Asia
3. 雑誌名 : Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC), IEEE Xplore
4. 巻 :
5. 発行年 : 2022
6. 最初と最後の頁 :
7. 論文のDOI : <https://doi.org/10.23919/PNC56605.2022.9982779>
8. 査読の有無 : 有
9. オープンアクセス :
10. 国際共著 :

[雑誌論文]

1. 著者名 : 宮野公樹, 櫻井悟史, プラダン ゴウランガ チャラン, 三谷宗一郎
2. 論文標題 : 解く理系に問う文系—超えるのではなく迎る、二つの文化—
3. 雑誌名 : アステイオン
4. 巻 : 97
5. 発行年 : 2022年
6. 最初と最後の頁 : 196-211
7. 論文のDOI :
8. 査読の有無 :
9. オープンアクセス :
10. 国際共著 :

[雑誌論文]

1. 著者名 : Iyemori T, Nishioka M, Otsuka Y and Shinbori A
2. 論文標題 : A confirmation of vertical acoustic resonance and field-aligned current generation just after the 2022 Hunga Tonga Hunga

Ha'apai volcanic eruption

3. 雑誌名 : Earth, Planets and Space
4. 巻 : 74
5. 発行年 : 2022
6. 最初と最後の頁 :
7. 論文のDOI : doi.org/10.1186/s40623-022-01653-y
8. 査読の有無 : 有
9. オープンアクセス : yes
10. 国際共著 : no

[雑誌論文]

1. 著者名 : Nosé, M., A. Matsuoka, Y. Miyoshi, K. Asamura, T. Hori, M. Teramoto, I. Shinohara, M. Hirahara, C. A. Kletzing, C. W. Smith, R. J. MacDowell, H. E. Spence, G. D. Reeves, and J. W. Gjerloev
2. 論文標題 : Flux enhancements of field-aligned low-energy O⁺ ion (FALEO) in the inner magnetosphere: A possible source of warm plasma cloak and oxygen torus
3. 雑誌名 : Journal of Geophysical Research
4. 巻 : 172
5. 発行年 : 2022
6. 最初と最後の頁 : 1-19
7. 論文のDOI : doi:10.1029/2021JA030008
8. 査読の有無 : 有
9. オープンアクセス : ×
10. 国際共著 : ○

[雑誌論文]

1. 著者名 : Nosé, M., T. Kawano, and H. Aoyama
2. 論文標題 : Application of magneto-impedance (MI) sensor to geomagnetic field measurements
3. 雑誌名 : Journal of Geophysical Research
4. 巻 : 172
5. 発行年 : 2022
6. 最初と最後の頁 : 1-13
7. 論文のDOI : 10.1029/2022JA030809
8. 査読の有無 : 有
9. オープンアクセス : ×
10. 国際共著 : ×

[学会発表]

1. 発表者名 : 武田和樹, 赤山慎治, 喜多涼介, 中井智也, 外村孝一郎, 梶田将司
2. 発表標題 : 学生主導プロジェクトによる Sakai LMS 拡張機能の開発
3. 学会等名 : 情報処理学会研究報告教育学習支援情報システム (CLE)
4. 発表年 : 2023年
5. 招待講演? : -
6. 国際学会? : -

[学会発表]

1. 発表者名 : Shoji Kajita and Tsuneo Yamada
2. 発表標題 : National Session ``Shedding Light on Shadow: Leveraging Global Open Source and Open Standard for K12 and Higher Education``
3. 学会等名 : IFIP WCCE 2022: World Conference on Computers in Education, 20-24, Aug, 2022, Hiroshima
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : -
6. 国際学会? : ○

[学会発表]

1. 発表者名 : Kazuki Takeda and Shoji Kajita
2. 発表標題 : Comfortable Sakai: UX Enhancement of the Sakai LMS from students' perspective
3. 学会等名 : Open Apereo 2022, online, June 14-15, 2022
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : -
6. 国際学会? : ○

[学会発表]

1. 発表者名 : 梶田将司, Jacques Raynauld, 家森俊彦, 原正一郎, 宮野公樹
2. 発表標題 : アカデミックデータ・イノベーション成熟度モデルによる若手研究者のための教育学習支援システムの開発
3. 学会等名 : Japan Open Science Summit 2022
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : -
6. 国際学会? : -

[学会発表]

1. 発表者名 : 梶田将司
2. 発表標題 : ラーニングアナリティクスの社会実装に向けて
3. 学会等名 : IMS Japan Conference 2022
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : -
6. 国際学会? : -

[学会発表]

1. 発表者名：梶田将司
2. 発表標題：LMS 20年の歴史と大学 DX に向けた展望〜京都大学でのフルオンライン授業対応を踏まえて〜
3. 学会等名：第18回 itSMF Japanコンファレンス招待講演（招待講演）
4. 発表年：2022
5. 招待講演？：-
6. 国際学会？：-

[学会発表]

(査読付き、国際学会、国際共同)

1. 発表者名：Shoichiro Hara:
2. 発表標題：Historical Landscape In the Context of Ancient Shrines (In the Panel "Cultural Landscapes in Emerging Digital Scholarship: The Search of Conceptual and Computational Frameworks"),
3. 学会等名：2022 Digital Humanities conference.
4. 発表年：2022
5. 招待講演？：no
6. 国際学会？：yes

[学会発表]

(査読付き、国際学会)

1. 発表者名：Akihiro Kameda, Kosei Mino, Shoichiro Hara, Shigeo Sugimoto
2. 発表標題：Trial for Collecting, Sharing and Preserving Digital Research Assets in Asia
3. 学会等名：Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC), IEEE Xplore
4. 発表年：2022
5. 招待講演？：no
6. 国際学会？：yes

[学会発表]

1. 発表者名：宮野公樹
2. 発表標題：「学際研究」認識調査の検証と総合知についての考察
3. 学会等名：研究・イノベーション学会第37回年次学術大会
4. 発表年：2022年
5. 招待講演？：
6. 国際学会？：

[学会発表]

(国際共同)

1. 発表者名：T. Iyemori, A. Yamada, T. Aoyama, K. Hozumi, Y. Yokoyama,

- Y. Odagi, Y. Sano, V. Pangsapa, T. Jarupongsakul, A. Saito and M. Iguchi
2. 発表標題 : Enhancement of short period GPS-TEC oscillations over rainfall area
 3. 学会等名 : 日本地球惑星科学連合
 4. 発表年 : 2022
 5. 招待講演? : no
 6. 国際学会? : yes

[学会発表]

1. 発表者名 : 家森 俊彦・西岡 未知・大塚 雄一・新堀 淳樹
2. 発表標題 : トンガ海底火山噴火による赤道を横切る沿磁力線電流の生成
3. 学会等名 : 日本地球惑星科学連合
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : no
6. 国際学会? : yes

[学会発表]

(国際共同)

1. 発表者名 : 家森俊彦, 梶田将司, Janice Smith, Jacques Raynauld, 能勢正仁, 青木学聡, 原正一郎, 宮野公樹
2. 発表標題 : 研究データマネージメント(RDM) の技能向上と教育のためのルーブリック開発 (2)
3. 学会等名 : 地球電磁気・地球惑星圏学会
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : no
6. 国際学会? : no

[学会発表]

(国際共同)

1. 発表者名 : T. Iyemori, T. Aoyama, Y. Yokoyama, V. Pangsapa4, T. Jarupongsakul, Y. Sano, Y. Odagi, Y. Tanaka, S. Taguchi, A. Saito and K. Hozumi
2. 発表標題 : Global enhancement of magnetic ripples after the 2022 Hunga Tonga Hunga Ha'apai volcanic eruption
3. 学会等名 : 地球電磁気・地球惑星圏学会
4. 発表年 : 2022
5. 招待講演? : no
6. 国際学会? : no

[学会発表]

1. 発表者名 : 家森俊彦

2. 発表標題：WDS小委員会の活動
3. 学会等名：名古屋大学宇宙地球環研究所研究集会 科学データ研究会+WDS国内シンポジウム（第10回）
4. 発表年：2023
5. 招待講演？：no
6. 国際学会？：no

[学会発表]

1. 発表者名：能勢正仁，新堀淳樹，田中良昌，阿部修司，上野悟，今城峻，相良毅，三好由純，堀智昭，端場純子，直江千寿子，大平司，岡本麻衣子，青木学聡，高橋一郎，林秀和，山田一成，齊藤泰雄
2. 発表標題：宇宙科学分野におけるメタデータマネジメントの実践例
3. 学会等名：第152回地球電磁気・地球惑星圏学会総会
4. 発表年：2022
5. 招待講演？：×
6. 国際学会？：×

[学会発表]

1. 発表者名：能勢正仁
2. 発表標題：宇宙地球科学分野におけるデータ出版・引用に関する国内外の動向
3. 学会等名：科学データ研究会+WDS国内シンポジウム(第10回)
4. 発表年：2023
5. 招待講演？：○
6. 国際学会？：×

[国際研究集会]

1. 国際研究集会名：AIユニット&理研AIP主催国際ワークショップ「AI-ELSIの挑戦—Anthropoceneを生き抜くプラネタリーな次元から」
2. 開催年：2023年

[国際研究集会]

1. 国際研究集会名：AIユニット&理研AIP主催国際ワークショップ「AI-ELSIの挑戦—人機協働の可能性」
2. 開催年：2023年

[本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況]

1. 共同研究相手国：

2. 相手方研究機関：

[備考] (ホームページ等)

* 京都大学学際融合教育研究推進センター <http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

* 監修

・「世界が広がる学問図鑑」, Gakken, 2023年2月2日

* 講演・企画

・登壇. 「ライフシフト時代のリカレント教育」, vKirrom Japan 株式会社 キリロムグローバルフォーラム2022 パネルディスカッション, 2022年4月30日

・パネルディスカッション. 「文化と問い」, Facebookライブ, 2022年5月16日

・講演「異分野融合の意味と意義」, 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構, 2022年5月17日

・発表. 「データ駆動型学際イノベーションのための学際ルーブリック」, ジャパン

・オープンサイエンス・サミット2022, 2022年6月10日

・出演. 「学び直しブーム...でも「学ぶ」って何?」, ABEMA TV, 2022年6月15日

・招待講演. 「「学」術系「イン」タープレナーと繋がろう。アカデミアと産業界がつくる「実現すべき未来」のために」, SUNDRED x JST アカデミアの越境を応援するコミュニティ『学イン』キックオフイベント, 2022年6月27日

・アドバイザー兼女性研究者座談会司会. 日経STEAMのシンポジウム, 日経新聞社, 2022年7月28日

・基調講演. 「専門領域を超える問いの立て方を考える」, 東京外国語大学学際研究共創センター『越境する知の共創』シリーズ第一回, 2022年9月28日

・講演. 「学ぶを学ぶー大学で学ぶ意味ー」, inochi WAKAZO Project inochi Gakusei Innovators' Program教育プログラム#8, 2022年10月2日

・企画出展. 「お台場100人論文」, JSTサイエンスアゴラ, 2022年11月5日

・基調講演. 「領域横断研究のフロンティア」, 立命館大学大学院 先端総合学術研究科 パートナーシップ委員会企画講演会, 2022年11月17日

・招待講演. 「専門とは何か。総合知や学際問い直しから見据える学問論」, 東北大学金属材料研究所 第143回金研講演会, 2022年11月28日

・招待講演. 政策研究大学院大学 令和4年度第1回 科学技術政策プラットフォーム検討会, 2022年12月21日

・講義. 「学ぶを学ぶ」, 東京理科大学 オープンカレッジ 社会人向け講座, 2023年1月12日

・登壇. TD研究の成果可視化の試行・検討ワークショップ, JST-RISTEX, 2023年2月7日

・講演・対談. 「シゴトとマナビ 明日の私の歩き方ー正解がない時代だからこそ面白いー」, 大学コンソーシアム京都, 2023年2月23日

・基調講演. 「問いの立て方 -高校生に求めたい”研究”とは-」, 全国高等学校データサイエンス教員研修会 (兵庫県立姫路西高等学校), 2023年2月24日

・主催・座長. 「研究”逆”発表大会-3つの企画と30の対話-」, 2022年度一般社団

法人STEAM Association活動報告会, 2023年3月4日

- ・ 登壇. TD研究可視化ワークショップ, JST-RISTEX, 2023年3月6日
- ・ 講演・対談. 「社会をデザインするための問いとは」, 産総研デザインスクール, 2023年3月8日
- ・ 基調講演, 「学ぶを学ぶ、問いを問う」, 海上保安大学校, 2023年3月10日
- ・ 基調講演. 「研究者がクラウドファンディングをすること」, Academist, 2023年3月16日
- ・ 特別基調講演. 「異分野融合のダイナミクス」, 第29回大学教育研究フォーラム, 2023年3月16日

* 記事掲載

- ・ 「分野を超えた“対話”を通じて、アカデミア×企業連携の可能性を探る——丸の内100人論文」, Tokyo Marunouchi Innovation Platform, 2022年4月7日
- ・ 「分野を超えた“対話”を通じて、アカデミア×企業連携の可能性を探る——丸の内100人論文」, 産経新聞グループ「SankeiBiz」, 2022年4月15日
- ・ 「ビジネスとアカデミアをつなぐ場のつくり方」, VEIL FUTURE INSIGHTS, 2022年4月26日
- ・ 「京大100人論文」をテーマにした論考が公開, 次世代リーダー養成ゼミナール「プロジェクト実践ジャーナル」(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク), 2022年5月23日
- ・ 一般社団法人STEAM Association主催「30 Interviews」をプレスリリース, PR TIMES, 2022年10月7日
- ・ 「本質的な問いにたどり着くために必要な姿勢とは」, 外資就活ドットコム, 2022年10月25日
- ・ 「お台場100人論文」の紹介「大学の研究支援基準に“論文” 疑問の声も」, ABEMA TV 最新NEWS番組, 2022年11月9日
- ・ 「お台場100人論文」の紹介記事とコメント掲載「“国際卓越研究大学”の選定基準に疑問の声」, ABEMA TIMES, 2022年11月11日
- ・ 「研究者の頭の中を具現化する! ? 社会表現型イベント『30 Interviews』とは何か、宮野公樹先生に聞いてみた」, WEBメディア: ほとんど0円大学, 2022年11月15日
- ・ 「世界かひろがる学問図鑑」プレリリース, Amazon, 2023年2月27日
- ・ 「企業のSDGs推進に、産学連携で取り組む価値とは」記事掲載, 豊通物流×京大オリジナル 対談, 2023年3月30日